

JOMF 特別企画セミナーのお知らせ:

先着順!
First Come First Served

2013年01月22日



海外邦人医療基金 第19回特別企画セミナー
東京医科大学病院 渡航者医療センター 第7回実用セミナー
のご案内

(主テーマ: 『海外勤務者の感染症対策～デング熱などの最新情報も含めて』)

日ごろは格別のご高配を賜りありがとうございます。

既にメールやホームページなどご案内をしておりますが、このたび
東京医科大学病院渡航者医療センター、厚生労働省「新興再興感染症研究事業」との三者共催で上述のように
財団法人海外邦人医療基金 第19回特別企画セミナー
東京医科大学病院 渡航者医療センター 第7回実用セミナー
として、
「海外勤務者の感染症対策～デング熱などの最新情報も含めて」を開催することになりました。

弊基金では、2010年3月4日ホテル銀座ラフィナートでの試行開催以降、合計18回のJOMF特別企画セミナーを開催してまいりました。
また、東京医科大病院 渡航者医療センターでは、2011年1月19日の第一回目を皮切りに、渡航医学に関連した様々な事柄をテーマに、皆様のお役にたつセミナー『実用セミナー』を既に6回開催されていらっしゃいます。

<<概要>>

日本企業の海外展開が加速する中、海外勤務者が滞在先で感染症にかかるケースが増加しています。とくに最近
は、蚊に媒介される感染症が注目されています。たとえば東南アジアでは、ここ数年、『デング熱』が大流行しており、
日本人の患者も数多く発生しています。また、インド洋周辺では『チクングニア熱』という病気が拡大中です。また、
米国でも2012年は『西ナイル熱』の患者が急増しました。このように、近年は海外で蚊に媒介される感染症が拡大
しており、海外に社員を派遣する企業では、その対策が必須のものになっています。
そこで今回は、海外勤務者の感染症対策について、蚊に媒介される感染症を中心に解説をして戴きます。

尚、申込者数多数の場合は、**基本的に先着順で閉め切り**、満員になった際には、メールおよび弊基金のHP
にてその旨お知らせいたします(案内状も含めて郵送はしません)。

<<担当>>

財団法人 海外邦人医療基金
業務部 宮本・澤田
TEL: **03-3593-1001**
FAX: 基本的に使用不可

E-mail: kansen@jomf.or.jp (今回のセミナー専用)
(セミナーに関する交信は全てこのアドレスで!!)

セミナーの概要

開催日：2013年2月6日（水）

講演：13：30～17：00

会場：東京医科大学病院 本館6階 臨床講堂（地下鉄丸ノ内線西新宿駅の前）
東京都新宿区西新宿6-7-1

対象：企業の健康管理担当者、人事労務担当者、危機管理担当者

費用：無料

定員：200名

問合せ（東京医大）TEL：03-5339-3726（直通：鹿島先生・福島先生）

（JOMF）TEL：03-3593-1001（代表：宮本・澤田）

申込：申込用紙を下記よりダウンロードして入力の上、メール添付でお送り下さい。

http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/doc/20121219_00.doc

*セミナー用メールアドレス：今回は kansen@jomf.or.jp となります。

プログラム：

- 13：30～13：40 オリエンテーション 東京医科大学病院 福島慎二
開会のあいさつ 海外邦人医療基金 倉林英彦
- 13：40～14：30 海外勤務者の感染症対策ABC
東京医科大学病院 渡航者医療センター 教授 濱田篤郎
- 14：30～14：40 休憩（アンケート記載）
- 14：40～15：40 海外で蚊に媒介されるウイルス感染症
国立感染症研究所 ウイルス一部 室長 高崎智彦
- 15：40～15：50 休憩
- 15：50～16：40 企業での海外感染症対策の実例
三菱重工工業長崎造船所病院 医長 宮城啓
- 16：40～16：55 Q&Aタイム
- 16：55～17：00 閉会のあいさつ 東京医科大学病院 濱田篤郎

講師ご紹介

【濱田篤郎教授について】（渡航者医療センターURL：<http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/tokou/>）

プロフィール：

- ・1981年 東京慈恵会医科大学卒業
- ・1981年 米国 Case Western Reserve 大学に留学（感染症、渡航医学を修得）
- ・帰国後、東京慈恵会医科大学・熱帯医学教室講師
- ・2004年より海外勤務健康管理センターの所長代理
海外勤務者の診療にあたるかたわら、新型インフルエンザやマラリアなど
海外の感染症対策事業を運営。
外務省の新型インフルエンザ対策・医療専門家としてもご活躍された後、
- ・2010年7月より東京医科大学病院・渡航者医療センター教授として現在に至る



海外邦人医療基金の諸活動に関しても、長期にわたりご指導を戴いており、特に新型インフルエンザが大流行した際には、「海外医療情報交換会（2009年10月開催）」においてゲストスピーカーとしてお話を戴いています。

国際渡航医学会（Certificate in Travel Health™）・日本内科学会認定医・日本寄生虫学会推薦 ICD（Infection Control Doctor）・労働衛生コンサルタント

日本内科学会・日本感染症学会・日本渡航医学会(理事長)・日本寄生虫学会(評議員)・日本熱帯医学(評議員)・日本産業衛生学会(代議員)・日本職業災害医学会(評議員)・国際渡航医学会

【高崎智彦先生について】(国立感染症研究所 URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>)

プロフィール:

- ・1975 年大阪府立大手前高等学校卒業、
- ・1982 年大阪医科大学卒業、耳鼻咽喉科臨床研修後、済生会中津病院医員、
- ・1987 年より米国 UCLA にて HIV 研究に従事、
- ・1989 年大阪医科大学助手(耳鼻咽喉科学)、
- ユニチカ中央病院耳鼻咽喉科医長を経て、
- ・1991 年より近畿大学医学部細菌学教室講師。
- ・1998 年より国立感染症研究所ウイルス第一部室長。



日本ウイルス学会常任理事、日本感染症学会評議員、耳鼻咽喉科専門医。
ウエストナイルウイルス防疫技術検討会専門委員、日本脳炎ワクチン製造承認専門委員。

専門分野はデングウイルス、日本脳炎ウイルスなど昆虫媒介性ウイルスおよびその感染症。

【宮城啓先生について】(三菱重工(株)長崎造船所病院 URL:<http://www.mhi.co.jp/nsmw/hospital/index.html>)

プロフィール:

- ・1992 年琉球大学医学部医学科卒業。
- ・1992 年から 2 年間東京都立豊島病院で臨床研修を受ける。
- ・1994 年より 2005 年まで琉球大学医学部第一内科、
主に呼吸器診療、感染症診療に従事、
- ・1996 年から 1 年間(大学院時代)、ラオスのカムワン県において、
JICA・琉球大学の公衆衛生プロジェクト(巡回診療チーム)に参加、
- ・2003 年から 2006 年まで外務省在ラオス日本国大使館に医務官として勤務、
- ・2006 年から 2012 年まで長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野に勤務、
- ・2012 年 4 月より現職。



日本渡航医学会評議員。

これまでのセミナーご報告もご参照下さい。(JOMF サイト内セミナーコーナー)

<http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/seminar.html>